



## プラスチック使用量を大幅削減 コールドドリンクの容器を紙製に変更

モスバーガーを展開する株式会社モスフードサービス（代表取締役社長：中村 栄輔、本社：東京都品川区）では、2023年5月中旬より順次、コールドドリンクのカップをプラスチック製から紙製に変更します。これにより、1年間で約670トンのプラスチックを削減することになります。



【紙製コールドカップ イメージ】

今回、「アイスコーヒー」や「ジンジャーエール」「モスシェイク バニラ」などに使用しているコールドドリンク用容器のS・M・L全てのサイズが紙製に変更となります。なお、カップのフタは従来通りプラスチック製を継続して使用します。また、カフェ業態店舗（モスバーガー&カフェ）の「アイス抹茶ラテ」など、一部のカフェ限定メニューについてはプラスチック製容器の使用を続けます。

### ■モスSDGsアクションについて

モスバーガーでは、持続可能な開発目標（SDGs）の達成に向けた取り組みを進めています。社会課題の解決につながる活動や施策を「モスSDGsアクション」と位置づけ、シンボルアイコンを通じて情報発信していきます。



（参考）モスグループの容器包装等に関するおもな取り組み

1972年：ホットドリンクを陶器のカップで提供（イートインの場合）

ハンバーガー類の包装には発泡スチロールではなく、薄い袋状の紙（内袋）を使用

1995年：全店舗でリユース食器の導入を推進

1999年：ホットドッグ容器を発泡スチロール製から紙製に変更

2001年：トレーをメラミン製からペットボトルのリサイクルPET製に変更

2006年：テイクアウト用ポリ袋に替わり、紙バッグを導入

2016年：テイクアウト用サラダ容器をリサイクルPET製に変更

2020年：ストローをバイオマスプラスチック30%使用のものに変更

2021年：マドラースプーンを木製へ変更

2022年：テイクアウト用スプーンとフォークを「ライスレジン®」を配合したカトラリーに変更

2023年：コールドドリンク容器をプラスチック製から紙製に変更

### <紙製コールドカップ 概要>

- 使用開始 : 2023年5月中旬から順次
- 対象商品 : コールドドリンク 11品目  
「アイスコーヒー (S・M・L)」「ジンジャーエール (S・M・L)」「モスシェイク バニラ」「モスシェイク コーヒー」 など

モスフードサービスでは、「おいしさ、安全、健康」という考え方を大切にした商品を「真心と笑顔のサービス」とともに提供することに一貫して取り組んでいます。創業以来守り続けるアフターオーダー方式や、日本の食文化を大切にした商品開発などを通じ、今後も経営ビジョンである「食を通じて人を幸せにすること」を実践し、「お店をもっと近くに・もっと愛されるお店に」をテーマとして進めてまいります。

#### <報道関係者からのお問い合わせ先>

株式会社モスフードサービス 広報 IR・SDGs グループ TEL. 03-5487-7371 E-mail. pr@mos.co.jp

#### <お客様からのお問い合わせ先>

お客様相談室 TEL. 0120-300900

#### <ご参考>

モスフードサービス企業サイト	<a href="https://www.mos.co.jp/company/">https://www.mos.co.jp/company/</a>
モスグループの環境・社会活動「モスの森」	<a href="https://www.mos.jp/mori">https://www.mos.jp/mori</a>
モス公式通販サイト「Life with MOS」	<a href="https://ec.mos.jp/">https://ec.mos.jp/</a>